

療育研修会

宮城県 支部

◆テーマ

筋ジストロフィー症と人工呼吸器

講師

今野 秀彦 先生

- 筋ジス患者は進行に伴って、肋間筋や横隔膜の筋力が低下し、胸部の拡張が不十分となり、大気中の酸素を取り入れ二酸化炭素を大気中に排出することが出来なくなり呼吸不全に陥る。
- 呼吸不全の症状として、早朝の頭痛、倦怠感、食欲低下、夜間の体位変換要求頻度の増加などの症状がみられる。
- 動脈血の酸素飽和度を非侵襲的に持続的に測定して患者の呼吸状態をモニターする器械 パルスオキシメーターがある。
- 人工呼吸器は、①適切なガス交換を維持する。②呼吸仕事量の負荷軽減。を目的に使用する。人工呼吸の種類には、飲圧式(体外式陰圧換気療法)と陽圧式(気管切開・気管内挿管・非侵襲的陽圧換気療法(NPPV))がある。
- 人工呼吸器の合併症 ①呼吸器系への影響 ②循環器系への影響 ③水分代謝への影響 ④胃腸障害 ⑤頭蓋内圧亢進 がある。
- 咳の管理 NPPVの陽圧による吸気介助。咳に合わせた徒手による吸気介助。救急蘇生パック加工による吸気介助。カフアシストによる深呼吸。がある。

等のお話があった。

◆テーマ

西多賀病院における在宅支援

講師

相沢 祐一 先生

- 3月11日の東日本大震災を経験して、これからの在宅医療について考える。
- 病院では、停電時自家発電が作動したので安心した。在宅で困っている人工呼吸器装着者を優先に受け入れした。(在宅患者24名)
- 被災された患者さんへの対応として、院内での支援物資募集。義援金の募集。医療費の猶予申請の面接。食料の調達。支援物資の調達。ガソリンの調達。退院先の確保を行う。
- 今回の震災の教訓！電気は大切、電気の確保が命を繋ぐ。電気の確保は(バッテリー・インバーター・自家発電)最低2系統を確保。呼吸器や酸素療法を実施している方は、訪問看護、訪問看護の利用を積極的に。近くに電源確保のできる場所を(消防署、警察署、病院など)
- 西多賀病院が今後取り組むべき課題として、自発呼吸がある方でもバッテリー確保やアンビューバッグを用意する。器械本体を内部バッテリーがあるものに変更していく。電源確保対策の指導助言。訪問看護ステーション・訪問介護事業所との連携強化。
- 障がいの重い方の自立した在宅生活を考える。(障がいの重い方の自立しやすい仕組みを考える。)事例の紹介があった。

以上の様なお話があった。

療育研修会実施状況

宮城支部

参加数 34名

テーマ ◆筋ジストロフィー症と人工呼吸器 ◆西多賀病院における在宅支援

講師 医師 今野 秀彦

社会福祉士 相沢 祐一

実施場所 みやぎNPOプラザ



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

- * 今野先生の講演は分かり易い説明で、自分でも呼吸しながら理解しやすかったです。相沢先生が登山家と知りびっくり！受け入れを呼吸器使用者に限られたのは当然のことですが・・・家族が居ても夜遅くまで一人で居る心細さも理解していただきたいと思いました。登山道具は私達も常備していたら役に立つと思いました。（女性）
- * 今野先生の話で呼吸リハビリの大切さと呼吸管理の重要性理解できました。相沢先生の話では、西多賀病院での詳しい様子と大変だった状況が良く分かりました。非常時の備えの必要性を痛切に感じました。（男性）
- * 今野先生のお話、呼吸リハビリの重要性を再認識しました。引き続き呼吸リハビリを継続していこうと思います。相沢先生のお話、震災時の西多賀病院の連携室の対応が適切だったことが理解できました。それから、発電機の実演は非常に勉強になりました。電動モーターが搭載されている機器はアンペア数が増減するので2～3倍で考えていくこと。コンセントが2つでも合計のアンペア数を考慮することなど注意点が分かりました。（男性）

療育研修会実施状況

宮城支部

参加数 34名

テーマ ◆筋ジストロフィー症と人工呼吸器 ◆西多賀病院における在宅支援

講師 医師 今野 秀彦 社会福祉士 相沢 祐一

実施場所 みやぎNPOプラザ



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

- * 今野先生の講演は分かり易い説明で、自分でも呼吸しながら理解しやすかったです。相沢先生が登山家と知りびっくり！受け入れを呼吸器使用者に限られたのは当然のことですが・・・家族が居ても夜遅くまで一人で居る心細さも理解していただきたいと思いました。登山道具は私達も常備していたら役に立つと思いました。（女性）
- * 今野先生の話で呼吸リハビリの大切さと呼吸管理の重要性理解できました。相沢先生の話では、西多賀病院での詳しい様子と大変だった状況が良く分かりました。非常時の備えの必要性を痛切に感じました。（男性）
- * 今野先生のお話、呼吸リハビリの重要性を再認識しました。引き続き呼吸リハビリを継続していこうと思います。相沢先生のお話、震災時の西多賀病院の運搬室の対応が適切だったことが理解できました。それから、発電機の実演は非常に勉強になりました。電動モーターが搭載されている機器はアンペア数が増減するので2～3倍で考えていくこと。コンセントが2つでも合計のアンペア数を考慮することなど注意点が分かりました。（男性）

.....

.....

.....

.....

療育研修会実施状況

宮城支部

参加数 34名

テーマ ◆筋ジストロフィー症と人工呼吸器

◆西多賀病院における在宅支援

講師 医師 今野 秀彦

社会福祉士 相沢 祐一

実施場所 みやぎNPOプラザ

